

令和8年3月

経済動向調査分析レポート

福崎町商工会

1. 人口動態および人口構造

※現在より約 20 年後のシミュレーションができるデータ。

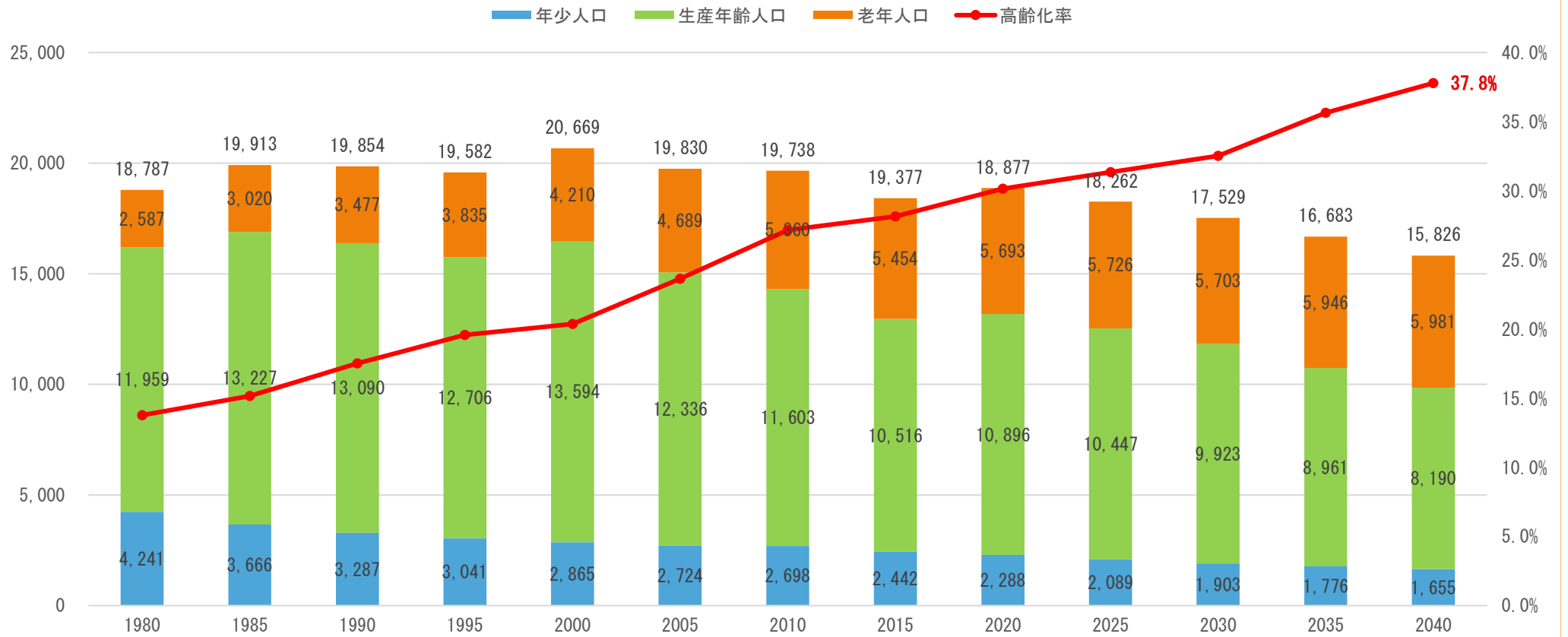
特に長期的な計画や戦略策定において、分析の第一歩目となるデータ。

1-1. 福崎町の人口動態および人口構造

ポイント

- 福崎町における人口は2020年から2040年にかけて約3,000人減少（▲16.2%）する見込
- 老年人口については、同288人増加（+5.1%）する見込みであり、人口減少段階の「第1段階」（年少・生産人口の減少、老年人口の増加段階）を迎える
- 生産年齢人口（15～64歳）については、産業の担い手、民間消費の中心層、子供を産む育てる世代である。人口はもちろん、地域の従業員数、地域消費額等の地域産業の発展に大きな影響を及ぼす世代である。生産年齢人口は2020年から2040年にかけて2,706人減少（▲24.8%）する見込み

福崎町の人口推移・予測



(備考) 地域経済分析システム (RESAS) より作成



1-2. 福崎町の年齢階級別の人口増減数

ポイント

○ 福崎町の年齢階級別の社会増減（転入・転出）について、2015年→2020年は2010年→2015年と比較して、進学・就職期の転出超過数の影響が減少し、総数では2010年→2015年の189人転入超過から、2015年→2020年の16人転入超過と減少している

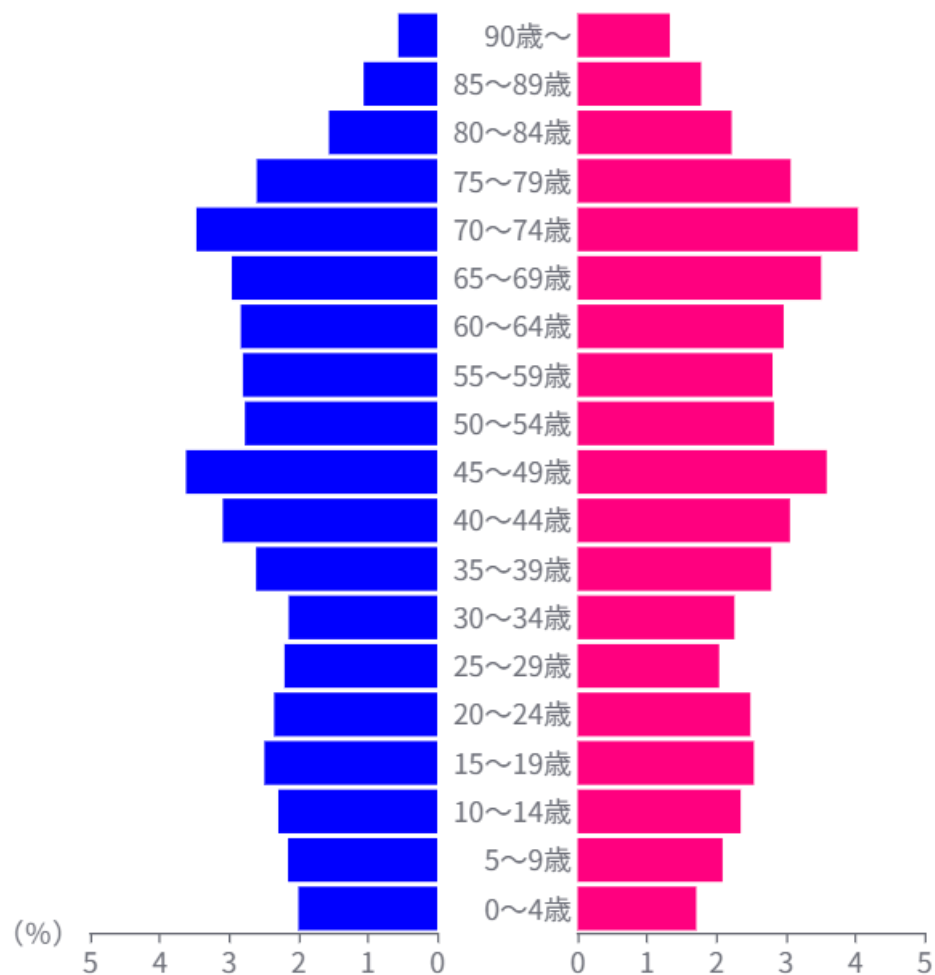


(備考) 地域経済分析システム (RESAS) より作成

【参考】人口ピラミッドの変化（2020年⇒2050年）

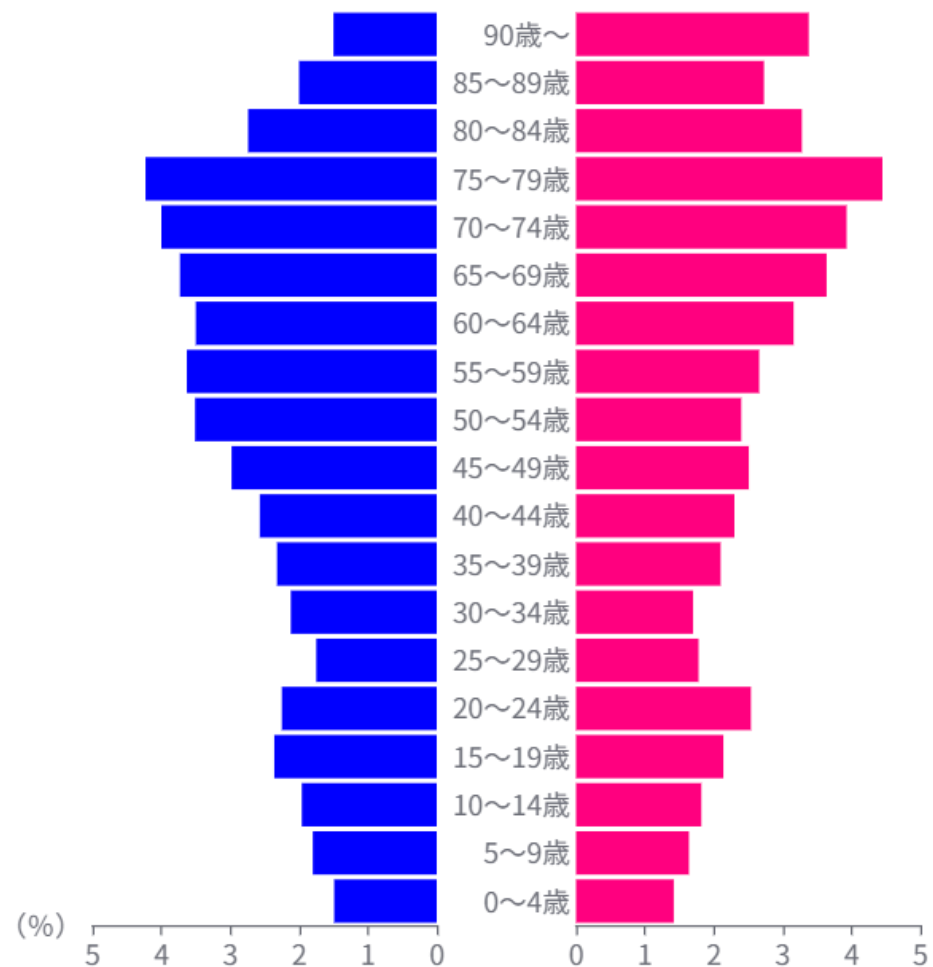
2020年

■ 男性 ■ 女性



2050年

■ 男性 ■ 女性



(備考) 地域経済分析システム (RESAS) より作成

2. 産業構造

※主に「経済センサス」の付加価値額を基にした地域の産業構造や、特化係数による全国水準と比較した地域の産業の強さを分析する。

特化係数は、全国水準と比較して、該当産業の①強さ、②特色、③外貨を稼ぐ力等を分析できる。

※各市町村における産業の企業数や事業所数が少ない場合は、付加価値額は「秘匿」（非公表により 0 でのカウント）としている。「2-3. 産業構造」では「その他」の産業に属している。

2-1. 播磨地域 8 市 8 町の産業構造（産業概観：企業単位）

播磨地域 8 市 8 町の産業構造の概観

※労働生産性上位順

大	市町	付加価値額 (百万円)	従業者数 (人)	労働生産性 (千円/人)	労働生産性上位業種 (左から 1 位)		
					業種	業種	業種
	稲美町	71,957	12,811	5,617	卸売業, 小売業	学術研究, 専門・技術サービス業	製造業
	加西市	74,705	15,400	4,851	製造業	建設業	運輸業, 郵便業
	佐用町	20,620	4,627	4,456	建設業	学術研究, 専門・技術サービス業	サービス業 (他に分類されないもの)
	播磨町	28,296	6,429	4,401	製造業	運輸業, 郵便業	学術研究, 専門・技術サービス業
	高砂市	94,375	21,647	4,360	学術研究, 専門・技術サービス業	建設業	不動産業, 物品賃貸業
	相生市	33,329	7,652	4,356	製造業	建設業	運輸業, 郵便業
	姫路市	863,721	204,788	4,218	学術研究, 専門・技術サービス業	製造業	建設業
	たつの市	98,172	24,125	4,069	建設業	学術研究, 専門・技術サービス業	製造業
	福崎町	29,045	7,177	4,047	運輸業, 郵便業	建設業	製造業
	加古川市	259,478	66,798	3,885	金融業, 保険業	建設業	製造業
	市川町	10,085	2,753	3,663	宿泊業, 飲食サービス業	教育, 学習支援業	運輸業, 郵便業
	赤穂市	45,950	12,632	3,638	製造業	建設業	農林漁業
	宍粟市	39,109	11,478	3,407	金融業, 保険業	建設業	学術研究, 専門・技術サービス業
	上郡町	10,412	3,131	3,325	運輸業, 郵便業	農林漁業	不動産業, 物品賃貸業
	太子町	25,275	8,468	2,985	建設業	学術研究, 専門・技術サービス業	製造業
	神河町	6,745	2,601	2,593	運輸業, 郵便業	製造業	医療, 福祉

労働生産性

小

※本表は、自治体の業種において、企業数が少ない場合、秘匿扱いとなり付加価値額が計れない。

○企業単位の集計：域内に本所を有する企業の集計

事業所単位の集計：域内にある事業所（本社も事業所に含む。域外から進出している企業の事業所（支店・工場等）を含み、域外へ進出している企業の事業所を除く）の集計

○付加価値額：企業の生産活動によって新たに生み出された価値のことで、次の算式を用いて算出

付加価値額＝売上高－費用総額＋給与総額＋租税公課

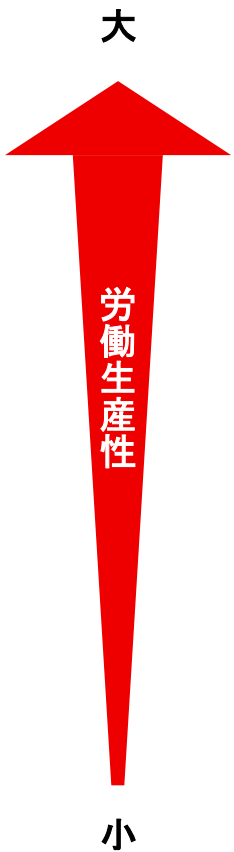
○特化係数：特化係数とは、ある業種の付加価値額が地域全体の付加価値額に占める割合を全国の当該業務の占める割合と比較したものであり、その地域が全国の平均的な産業構造の姿と比べてどの業種に特化しているかを示すもの。特化係数 1 を基準にし、1 以上であれば全国と比べてその業種に特化していることを意味する。

（備考）地域経済分析システム（RESAS）より作成 データ基準年 付加価値額：2021 年 従業者数：2021 年

2-2. 播磨地域 8 市 8 町の産業構造（産業概観：事業所単位）

播磨地域 8 市 8 町の産業構造の概観

※労働生産性上位順



	付加価値額 (百万円)	従業者数 (人)	労働生産性 (千円/人)	労働生産性上位業種 (左から 1 位)		
播磨町	69,737	11,313	6,164	製造業	学術研究, 専門・技術サービス業	運輸業, 郵便業
高砂市	225,441	41,005	5,498	金融業, 保険業	学術研究, 専門・技術サービス業	製造業
赤穂市	85,315	17,126	4,982	電気・ガス・熱供給・水道業	製造業	学術研究, 専門・技術サービス業
姫路市	1,214,573	248,652	4,885	電気・ガス・熱供給・水道業	鉱業, 採石業, 砂利採取業	金融業, 保険業
加西市	104,211	21,672	4,809	複合サービス事業	金融業, 保険業	製造業
たつの市	144,926	31,162	4,651	電気・ガス・熱供給・水道業	建設業	金融業, 保険業
稲美町	67,162	14,470	4,641	学術研究, 専門・技術サービス業	金融業, 保険業	不動産業, 物品賃貸業
加古川市	392,177	84,945	4,617	金融業, 保険業	建設業	学術研究, 専門・技術サービス業
福崎町	52,851	11,765	4,492	教育, 学習支援業	製造業	複合サービス事業
相生市	46,413	10,772	4,309	建設業	金融業, 保険業	複合サービス事業
佐用町	27,432	6,388	4,294	建設業	学術研究, 専門・技術サービス業	製造業
市川町	15,015	3,701	4,057	教育, 学習支援業	宿泊業, 飲食サービス業	複合サービス事業
太子町	44,066	11,568	3,809	製造業	建設業	金融業, 保険業
宍粟市	48,457	13,641	3,552	電気・ガス・熱供給・水道業	金融業, 保険業	複合サービス事業
上郡町	15,831	4,695	3,372	学術研究, 専門・技術サービス業	運輸業, 郵便業	複合サービス事業
神河町	10,994	3,266	3,366	金融業, 保険業	製造業	複合サービス事業

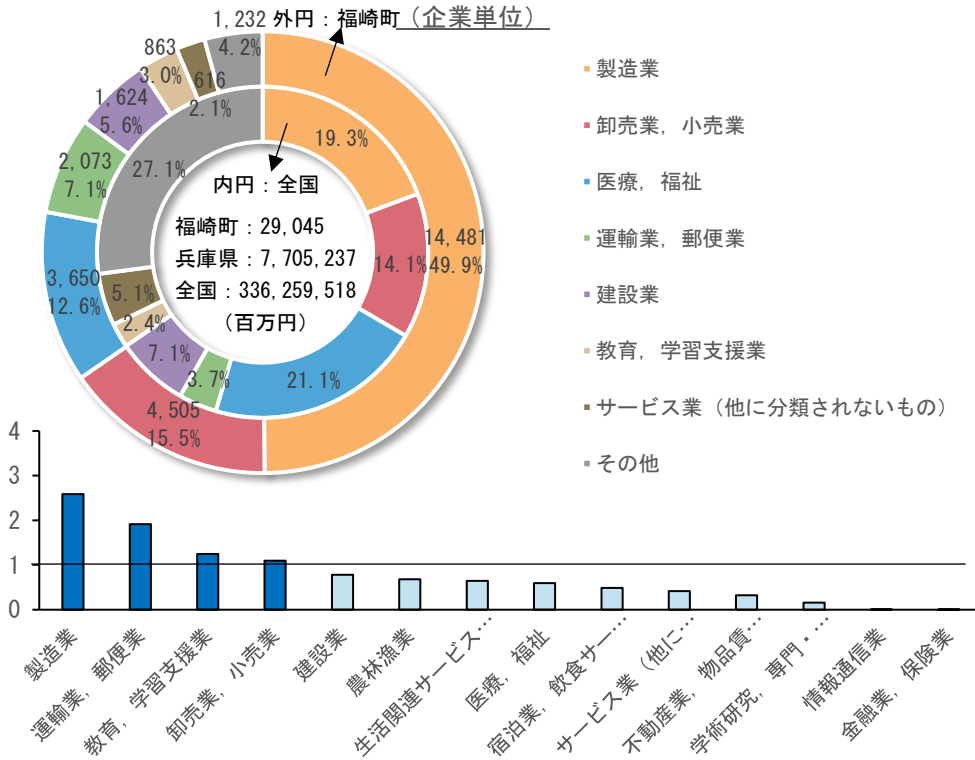
(備考) 地域経済分析システム (RESAS) より作成 データ基準年 付加価値額：2021年 従業者数：2021年

2-3. 福崎町の産業構造① -付加価値額（企業単位、事業所単位）-

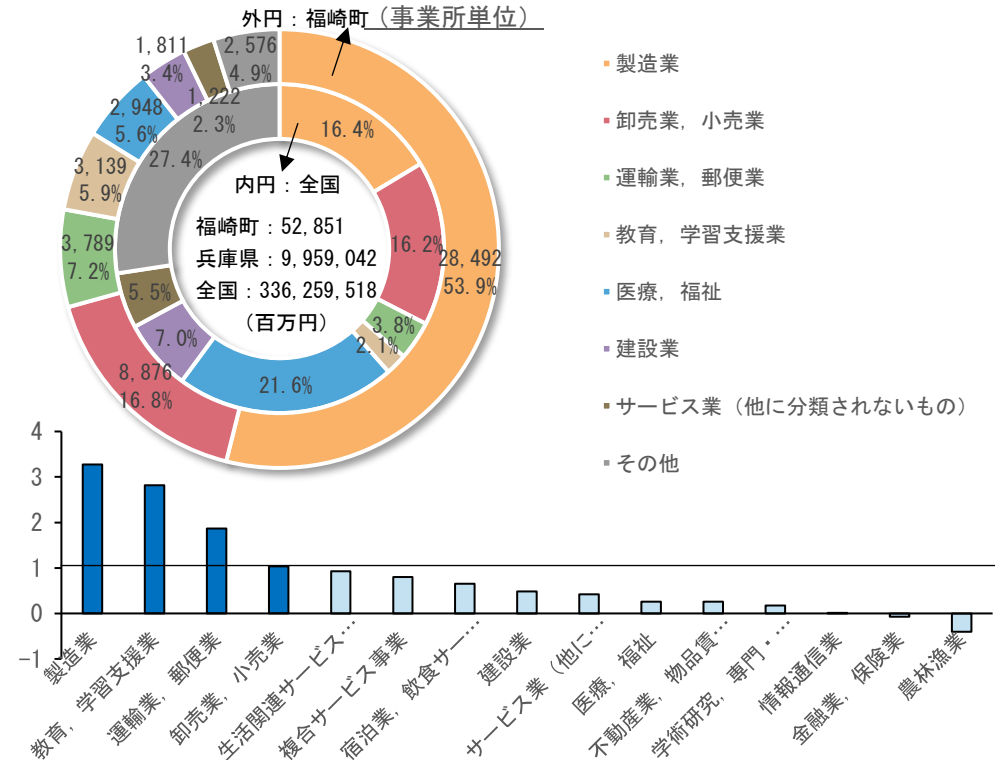
○ 付加価値額および付加価値額特化係数がともに高い産業 「製造業」、「運輸業、郵便業」、「卸売業、小売業」

秘匿の産業：「情報通信業」、「金融業、保険業」

産業別付加価値額構成および付加価値額特化係数



産業別付加価値額構成および付加価値額特化係数



(備考) 地域経済分析システム (RESAS) -産業構造分析-より作成 データ基準年 付加価値額：2021年

企業単位の付加価値額合計 29,045 百万円、事業所単位の付加価値額合計 52,851 百万円

→事業者単位の付加価値額合計に対する地場企業の付加価値額の想定割合：29,045 / 52,851 × 100 = 55.0%

※同数値は企業単位、事業所単位の定義から精緻な数値ではなく、他市町村との比較や傾向を把握するために記載

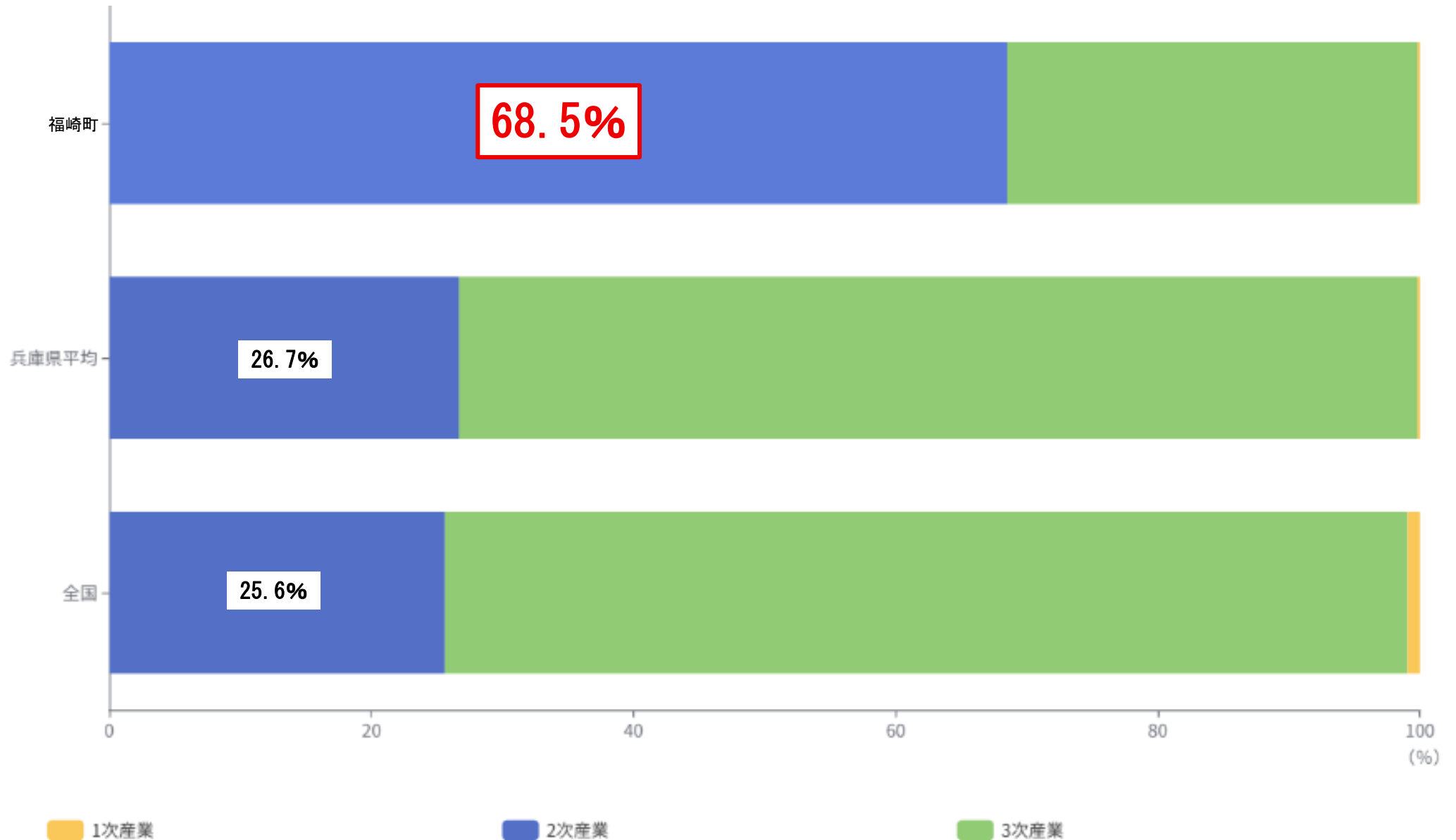
※福崎町は、他町村と比較して同数値が低い。特に、工業団地に立地する町外資本の事業所の付加価値額が大きいと思考される。

(単位：%、位)

	姫路市	相生市	加古川市	赤穂市	高砂市	加西市	宍粟市	たつの市	稲美町	播磨町	市川町	福崎町	神河町	太子町	上郡町	佐用町	播磨管内
地場企業の付加価値貢献度	71.1	71.8	66.2	53.9	41.9	71.7	80.7	67.7	107.1	40.6	67.2	55.0	61.4	57.4	65.8	75.2	66.7
順位	6	4	9	14	15	5	2	7	1	16	8	13	11	12	10	3	

2-4. 福崎町の産業構造② -地域内産業の構成割合（付加価値額（総額））-

○ 福崎町では、兵庫県や全国と比較して2次産業の付加価値額の割合が極めて高くなっている



(備考) 地域経済分析システム (RESAS) -生産分析より作成 データ基準年 付加価値額: 2022年

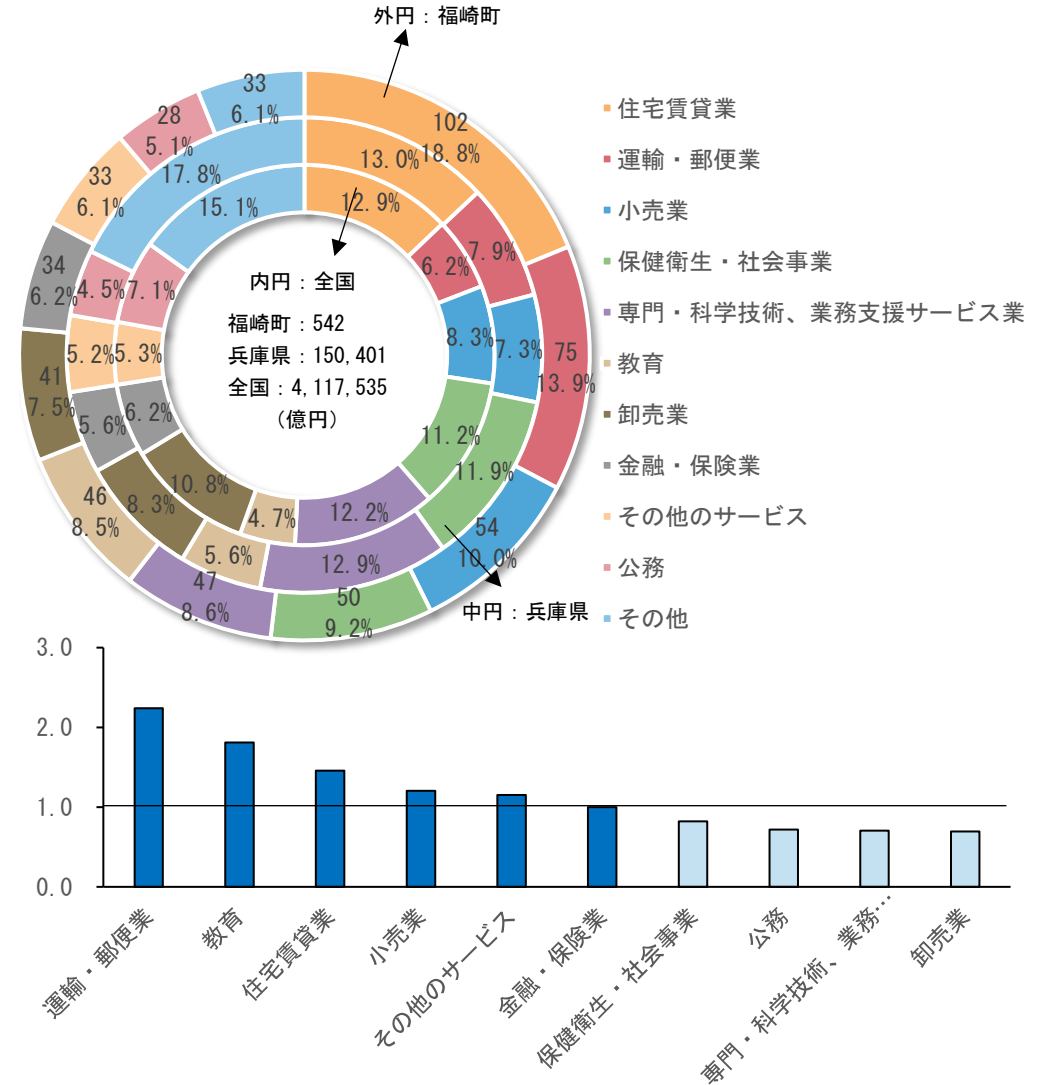
2-5. 福崎町の産業構造③ -付加価値額（2次産業、3次産業）-

- 2次産業では付加価値額および付加価値額特化係数がともに高い産業 「化学」、「電気機械」、「鉄鋼」
- 3次産業では付加価値額および付加価値額特化係数がともに高い産業 「運輸・郵便業」、「住宅賃貸業」、「小売業」

2次産業付加価値額構成および付加価値額特化係数



3次産業付加価値額構成および付加価値額特化係数



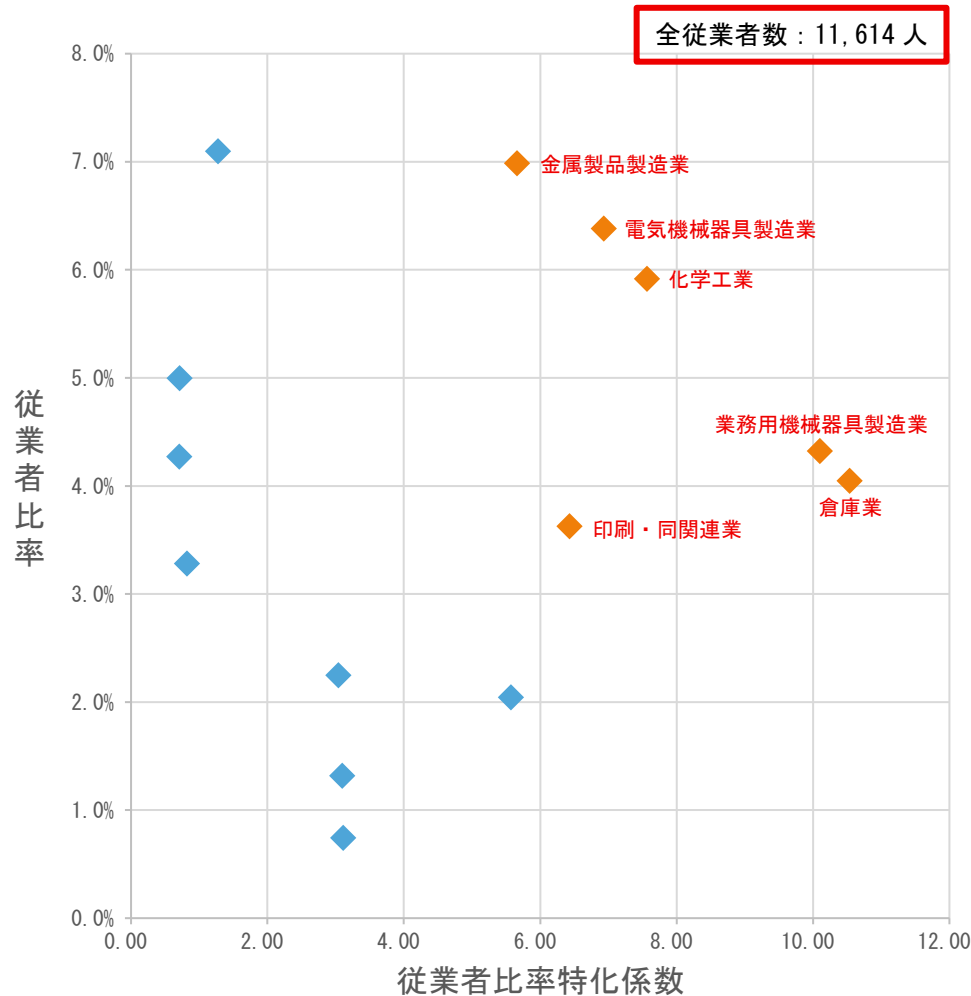
(備考) 地域経済分析システム (RESAS) -生産分析-より作成 データ基準年 付加価値額：2022年

2-6. 福崎町の産業構造④ -雇用の構造-

「従業者比率」と「従業者比率特化係数」

- ・2021年では、「飲食料品小売業」、「金属製品製造業」、「電気機械器具製造業」、「化学工業」の雇用力が強い。
- ・従業者比率特化係数（全国水準の雇用状況との比較）では、「倉庫業」、「業務用機械器具製造業」、「化学工業」が高い。

従業者比率と従業者比率特化係数



(備考) 総務省・経済産業省「経済センサス - 活動調査」より作成

「従業者比率」と「従業者比率特化係数」の上位10業種

産業中分類名	従業者比率	従業者比率特化係数	従業者数 (人)
飲食料品小売業	7.1%	1.28	824
金属製品製造業	7.0%	5.66	811
電気機械器具製造業	6.4%	6.93	741
化学工業	5.9%	7.57	687
社会保険・社会福祉・介護事業	5.0%	0.71	580
業務用機械器具製造業	4.3%	10.10	502
飲食店	4.3%	0.71	496
倉庫業	4.0%	10.54	470
印刷・同関連業	3.6%	6.43	421
その他の小売業	3.3%	0.82	381

従業者比率特化係数の上位10業種

産業中分類名	従業者比率	従業者比率特化係数	従業者数 (人)
倉庫業	4.0%	10.54	470
業務用機械器具製造業	4.3%	10.10	502
化学工業	5.9%	7.57	687
電気機械器具製造業	6.4%	6.93	741
印刷・同関連業	3.6%	6.43	421
金属製品製造業	7.0%	5.66	811
パルプ・紙・紙加工品製造業	2.0%	5.57	237
飲料・たばこ・飼料製造業	0.7%	3.11	86
鉄鋼業	1.3%	3.10	153
電子部品・デバイス・電子回路製造業	2.2%	3.04	261

2-7. 福崎町の産業構造⑤ -業種別の事業所数・従業者数～人口増減によって影響を受ける生活関連ビジネス～

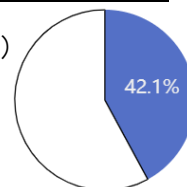
- 2016年から2021年の5年間で、業種毎の事業所数・従業者数を見ると、事業所数増加上位順は「医療業」、「社会保険・社会福祉・介護事業」、「洗濯・理容・美容・浴場業」、従業者数増加上位順は「飲食料品小売業」、「社会保険・社会福祉・介護事業」、「持ち帰り・配達飲食サービス業」である。一方、事業所数減少上位順並びに従業者数減少上位順はいずれも「その他の小売業」、「飲食店」、「娯楽業」である。

	事業所数			従業者数（人）		
	2016年	2021年	増減	2016年	2021年	増減
各種商品小売業	1	1		8	5	↓
織物・衣服・身の回り品小売業	20	19	↓	171	114	↓
飲食料品小売業	48	46	↓	701	824	↑
その他の小売業	85	69	↓	542	381	↓
飲食店	72	65	↓	648	496	↓
持ち帰り・配達飲食サービス業	8	10	↑	40	66	↑
洗濯・理容・美容・浴場業	62	64	↑	189	184	↓
その他の生活関連サービス業	9	8	↓	41	31	↓
娯楽業	9	6	↓	199	111	↓
その他の教育，学習支援業	35	36	↑	98	116	↑
医療業	38	42	↑	347	334	↓
社会保険・社会福祉・介護事業	22	25	↑	504	580	↑

※全産業（公務を除く）に占める割合

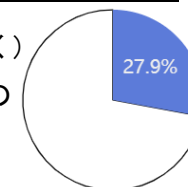
42.1% 42.1%

全産業（公務を除く）
に占める事業所数の
割合（2021年）



29.7% 27.9%

全産業（公務を除く）
に占める事業所数の
割合（2021年）



（備考）地域経済分析システム（RESAS）-地域ビジネス環境分析シートより作成

データ基準年 事業所数・就業者数：2016年、2021年

3. 資金循環構造

※主に雇用所得と民間消費の金額を用いた分析により、域外との雇用・消費の流入出を分析する。

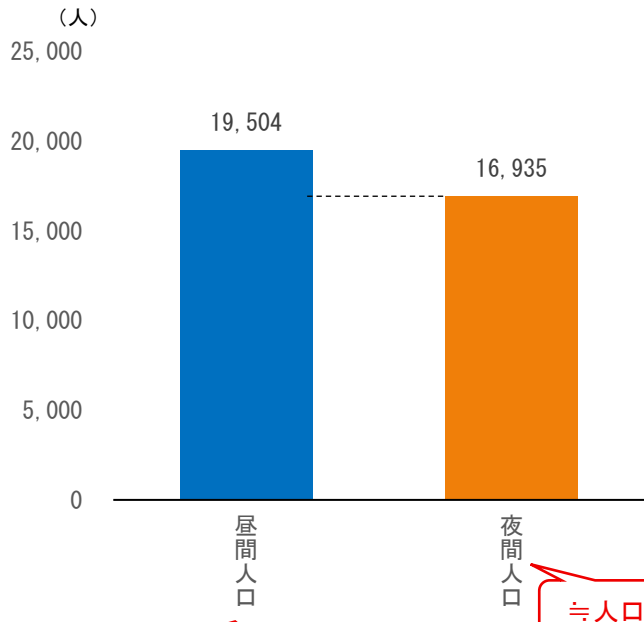
雇用所得については、近隣地域と比較した地域の雇用基盤も分析する。

3-1. 福崎町のお金の流れ①

- 福崎町では、町外から町内への通学・通勤者が多く、昼間人口が夜間人口よりも多い。
- 福崎町における地域内雇用者所得は、地域住民が得た地域住民雇用者所得よりも多いことから、雇用者所得は流出しているものの、町内に一定の雇用基盤を有しているものと考えられる。
- 福崎町の民間消費について見ると、福崎町民（居住者）における消費額よりも多く、消費が町内に流入している。
- 民間消費流入の要因としては、姫路市北部・市川町・神河町の住民が福崎町内商業施設の利用、工業団地の町外従業員による町内での消費等が考えられる。

昼間人口と夜間人口（2020年）

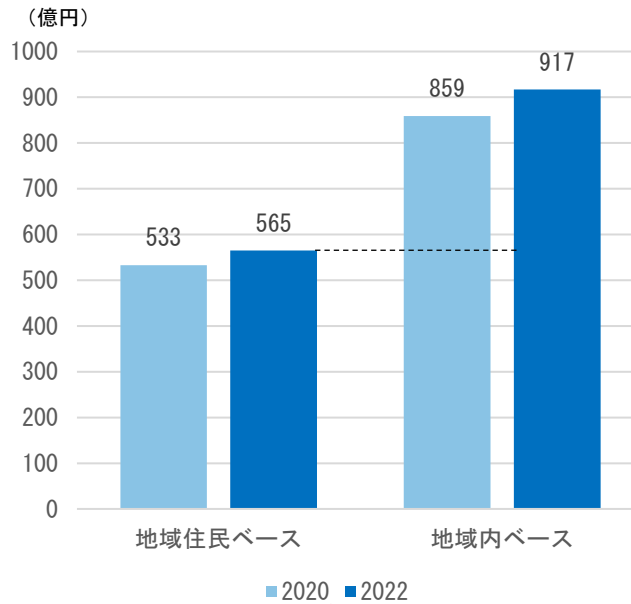
昼間人口が2,500人多い



福崎町で就業・就学している人口を考慮した人口
工業団地で働く町外従業員の影響も大きいと予想

地域内雇用者所得と地域住民雇用者所得の比較

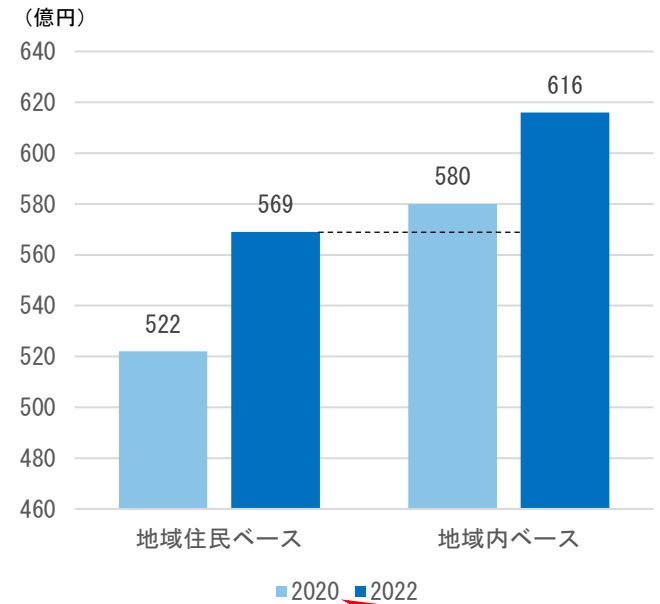
町外へ352億円の流出



【地域住民ベース】
福崎町民が稼いだ給与総額（職場の住所問わず）
【地域内ベース】
福崎町の事業所が従業員に支払った給与総額（従業員の住所問わず）

地域内消費と地域住民消費の比較

町内に47億円の流入



【地域住民ベース】
福崎町民が消費した金額（消費場所問わず）
【地域内ベース】
福崎町内で消費された金額（消費者の住所問わず）
※「地域住民民間消費」は、町民の給与収入・年金収入に係数を乗じた想定金額であり実数ではない。

（備考）地域経済分析システム（RESAS）-地域経済循環分析より作成 データ基準年 所得：2020年、2022年

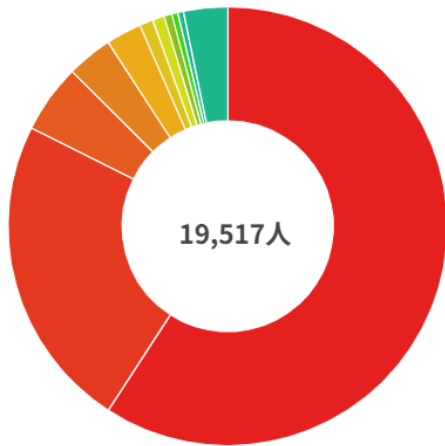
3-2. 福崎町のお金の流れ② -昼間人口、夜間人口-

- 福崎町では、町外から町内への通学・通勤者が多く、2015年、2020年のいずれも昼間人口が夜間人口よりも多い。
- 昼間人口、夜間人口ともに2015年→2020年でやや減少しているものの人口割合の順位に変化はない。

昼間人口と夜間人口（2015年）

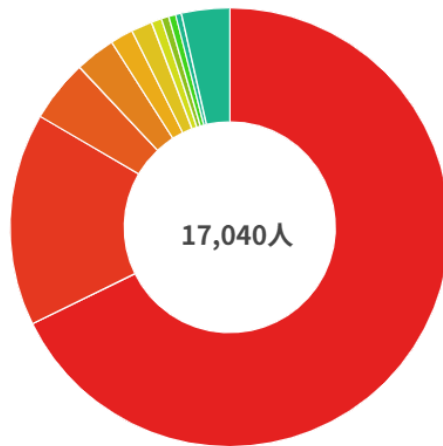
昼間人口

(指定地域内に日中滞在する人の居住地)



夜間人口

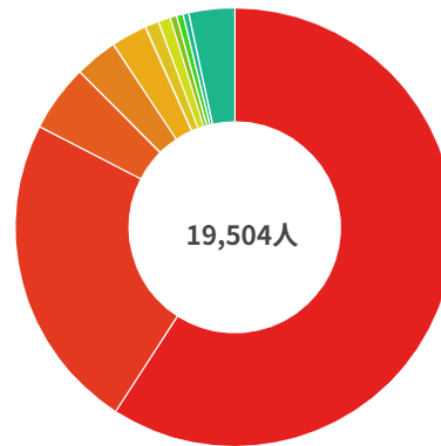
(指定地域内に居住する人の日中の滞在地)



昼間人口と夜間人口（2020年）

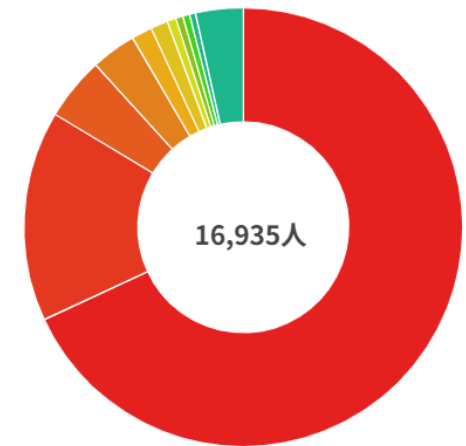
昼間人口

(指定地域内に日中滞在する人の居住地)



夜間人口

(指定地域内に居住する人の日中の滞在地)



- 1位 兵庫県福崎町 11,544人 (59.15%)
- 2位 兵庫県姫路市 4,537人 (23.25%)
- 3位 兵庫県市川町 989人 (5.07%)
- 4位 兵庫県神河町 658人 (3.37%)
- 5位 兵庫県加西市 511人 (2.62%)
- 6位 兵庫県宍粟市 194人 (0.99%)
- 7位 兵庫県加古川市 172人 (0.88%)
- 8位 兵庫県たつの市 112人 (0.57%)
- 9位 兵庫県朝来市 88人 (0.45%)
- 10位 兵庫県高砂市 82人 (0.42%)
- その他 630人 (3.23%)

- 1位 兵庫県福崎町 11,544人 (67.75%)
- 2位 兵庫県姫路市 2,673人 (15.69%)
- 3位 兵庫県加西市 780人 (4.58%)
- 4位 兵庫県市川町 503人 (2.95%)
- 5位 兵庫県神戸市 289人 (1.70%)
- 6位 兵庫県神河町 262人 (1.54%)
- 7位 兵庫県加古川市 129人 (0.76%)
- 8位 兵庫県加東市 95人 (0.56%)
- 9位 兵庫県高砂市 89人 (0.52%)
- 10位 大阪府大阪市 74人 (0.43%)
- その他 602人 (3.53%)

- 1位 兵庫県福崎町 11,532人 (59.13%)
- 2位 兵庫県姫路市 4,575人 (23.46%)
- 3位 兵庫県市川町 966人 (4.95%)
- 4位 兵庫県神河町 613人 (3.14%)
- 5位 兵庫県加西市 515人 (2.64%)
- 6位 兵庫県宍粟市 202人 (1.04%)
- 7位 兵庫県加古川市 174人 (0.89%)
- 8位 兵庫県たつの市 97人 (0.50%)
- 9位 兵庫県朝来市 92人 (0.47%)
- 10位 兵庫県神戸市 81人 (0.42%)
- その他 657人 (3.37%)

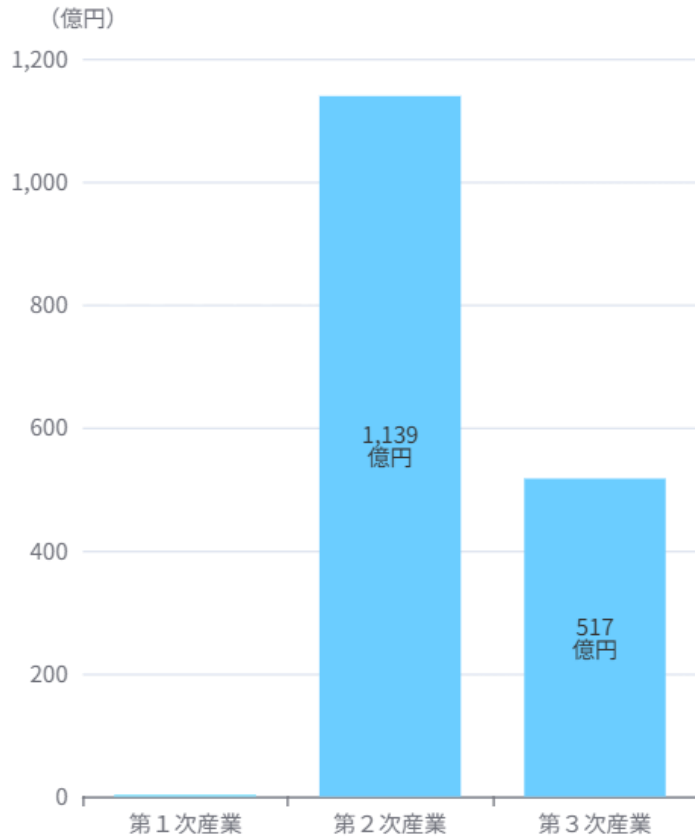
- 1位 兵庫県福崎町 11,532人 (68.10%)
- 2位 兵庫県姫路市 2,627人 (15.51%)
- 3位 兵庫県加西市 788人 (4.65%)
- 4位 兵庫県市川町 562人 (3.32%)
- 5位 兵庫県神河町 258人 (1.52%)
- 6位 兵庫県神戸市 215人 (1.27%)
- 7位 兵庫県加古川市 111人 (0.66%)
- 8位 兵庫県加東市 91人 (0.54%)
- 9位 兵庫県高砂市 86人 (0.51%)
- 10位 兵庫県朝来市 73人 (0.43%)
- その他 592人 (3.50%)

(備考) 地域経済分析システム (RESAS) -通勤通学人口分析より作成 データ基準年 昼間人口・夜間人口: 2015年、2020年

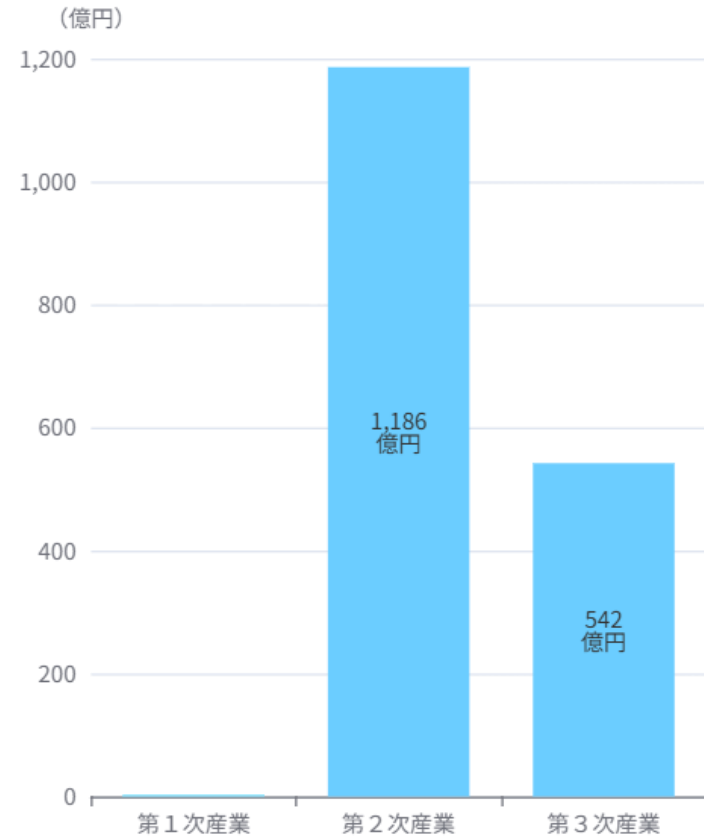
3-3. 福崎町のお金の流れ③ -生産（付加価値額）-

○ 2020年→2022年で1次産業は横ばい、2次産業、3次産業は付加価値額が上昇している。

生産（付加価値額）（2020年）



生産（付加価値額）（2022年）



	1次産業	2次産業	3次産業
付加価値額（一人当たり）	145万円	2,048万円	825万円
付加価値額（一人当たり）順位	1,591位	87位	504位

	1次産業	2次産業	3次産業
付加価値額（一人当たり）	141万円	2,142万円	869万円
付加価値額（一人当たり）順位	1,527位	84位	471位

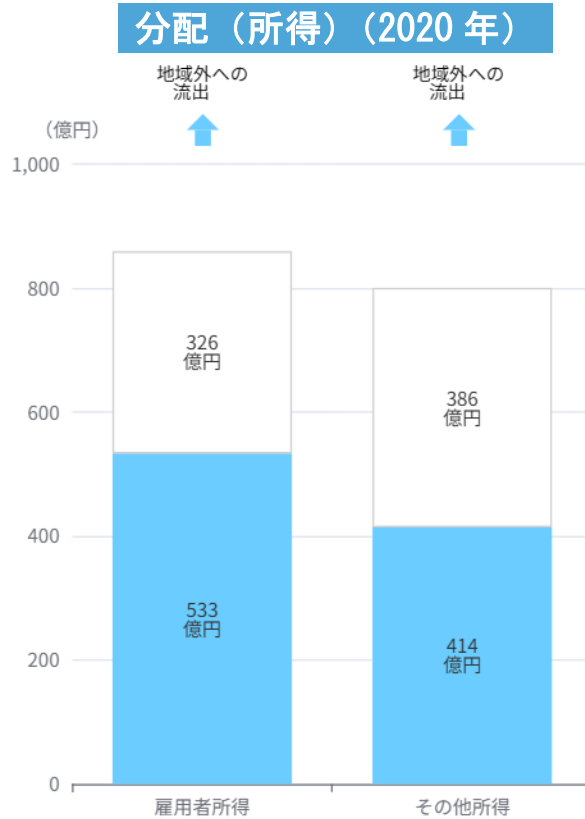
○生産（付加価値額）：地域が生産した商品やサービス等を販売して得た金額から、原材料費や外注費といった中間投入額を差し引いた付加価値額

○表に記載されている順位は、全国1,741市区町村におけるランキング

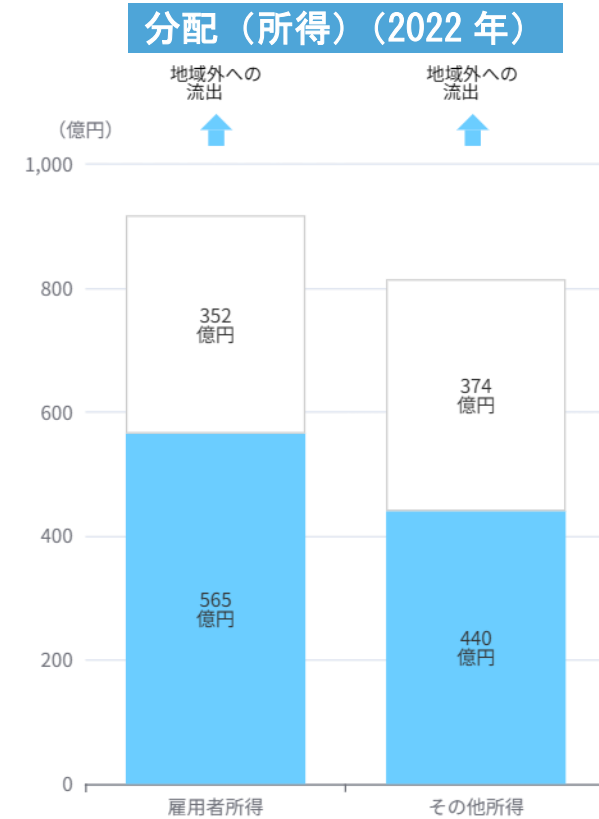
（備考）地域経済分析システム（RESAS）-地域経済循環分析より作成 データ基準年 付加価値額：2020年、2022年

3-4. 福崎町のお金の流れ④ - 分配（所得） -

○ 2020年→2022年で雇用者所得、その他所得ともに上昇している。



	雇用者所得	その他所得
所得（一人当たり）	275 万円	214 万円
所得（一人当たり）順位	175 位	868 位



	雇用者所得	その他所得
所得（一人当たり）	296 万円	231 万円
所得（一人当たり）順位	139 位	815 位

○分配（所得）：地域産業が稼いだ付加価値額がどのように所得として分配されたか

雇用者に支払われた「雇用者所得」と、財産所得、企業所得、交付税、社会保障給付、補助金等、雇用者所得以外の「その他所得」で構成

地域内の住民・企業等が稼ぐ所得より、地域の産業が分配する所得が少ない場合は、その差額が赤色で表示され、地域外から流入していることを意味する。

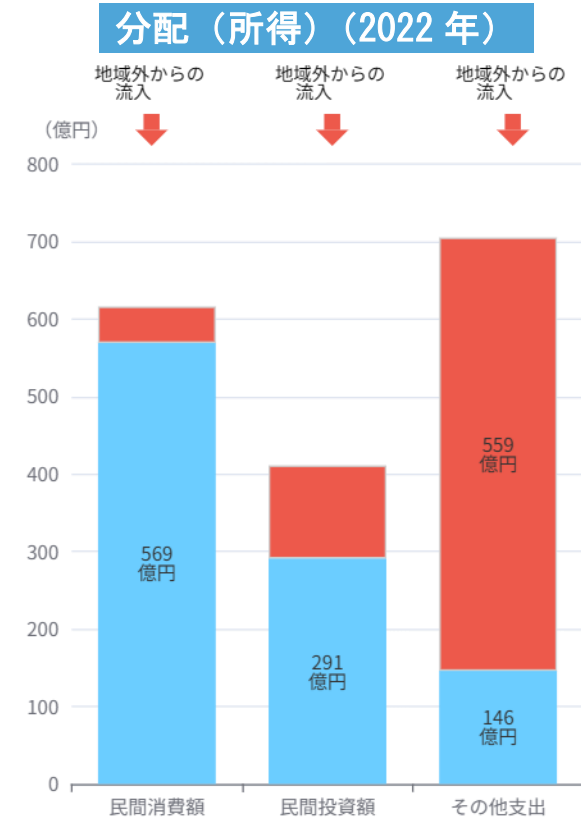
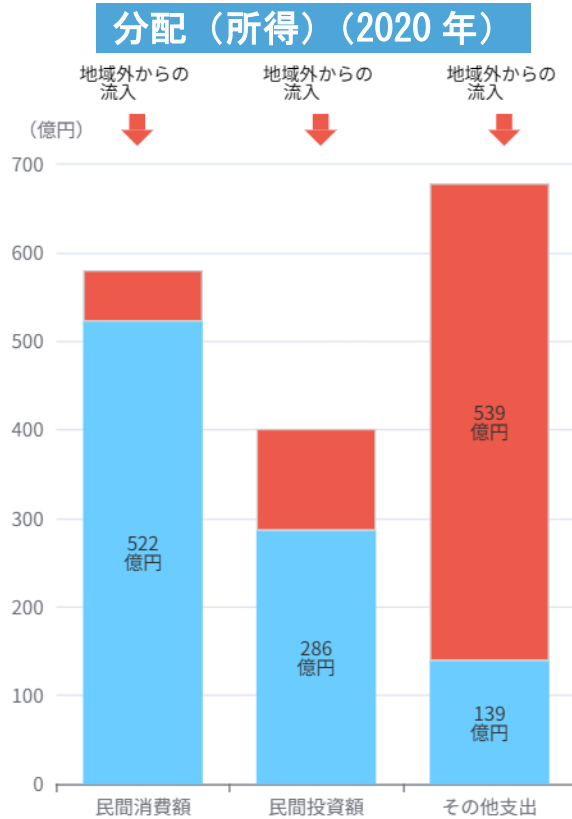
地域内の住民・企業等が稼ぐ所得より、地域の産業が分配する所得が多い場合は、その差額が空白の四角で表示され、地域外に流出していることを意味する。

○表に記載されている順位は、全国1,741市区町村におけるランキング

（備考）地域経済分析システム（RESAS）-地域経済循環分析より作成 データ基準年 所得：2020年、2022年

3-5. 福崎町のお金の流れ⑤ - 支出 -

○ 2020年→2022年で支出出入率は民間消費、その他支出では低下しているが民間投資では上昇している。



	民間消費	民間投資	その他支出
支出流出入率	11.1%	40.0%	388.3%
支出流出入率順位	476位	76位	27位

	民間消費	民間投資	その他支出
支出流出入率	8.2%	41.4%	383.6%
支出流出入率順位	524位	55位	27位

○分配（所得）：地域内の住民・企業等に分配された所得がどのように使われたか

住民の消費等を示す「民間消費額」、企業の設備投資等を示す「民間投資額」、政府支出、地域内産業の移出入収支額等を示す「その他支出」で構成

地域内の住民・企業等が支出した金額より、地域内に支出された金額が少ない場合は、その差額がグラフでは空白の四角で表示され、地域外に流出していることを意味する。

地域内の住民・企業等が支出した金額より、地域内に支出された金額が多い場合は、その差額が赤色のグラフとして表示され、地域外から流入していることを意味する。

○表に記載されている順位は、全国1,741市区町村におけるランキング

（備考）地域経済分析システム（RESAS）-地域経済循環分析より作成 データ基準年 支出：2020年、2022年

4. 産業連関構造

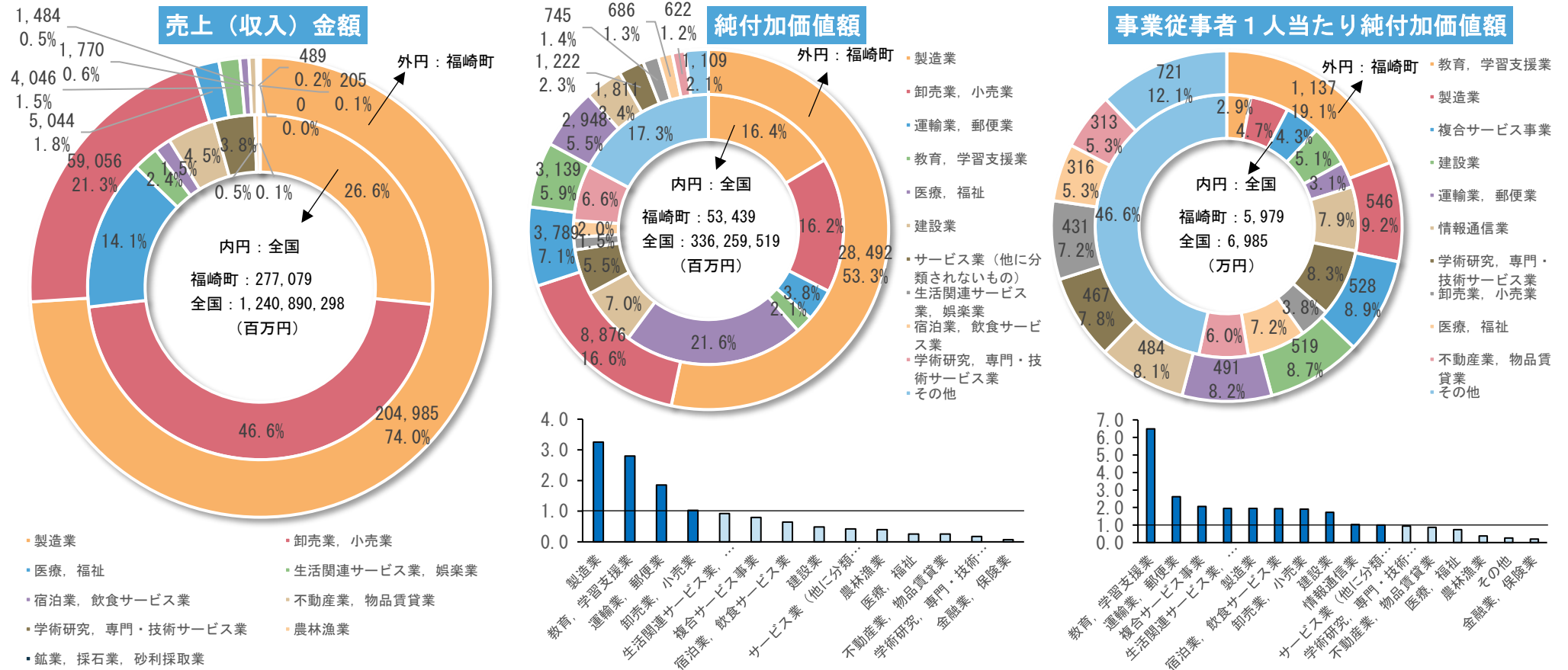
※精緻な数値ではないものの、「2. 産業構造」の分析と比較して、特に産業間取引構造や域外取引の傾向をより分析することができる。

本分析は、「2. 産業構造」でいう事業所単位にて分析している。

4-1. 福崎町の「主要産業の把握」（売上（収入）金額および純付加価値額から見た主要産業）①

- 市場規模が大きい産業 → 売上（収入）金額が大きい産業
「製造業」、「卸売業, 小売業」、「医療, 福祉」、「生活関連サービス業, 娯楽業」
- 『稼ぐ力』『雇用力』『投資力』が強い産業 → 純付加価値額構成比が大きく、純付加価値額構成比の特化係数が高い産業
「製造業」、「卸売業, 小売業」、「運輸業, 郵便業」、「教育, 学習支援業」
- 『生産性』の高い産業 → 事業従事者1人当たり純付加価値額が高く、事業従事者1人当たり純付加価値額構成比の特化係数が高い産業
「教育, 学習支援業」、「製造業」、「複合サービス事業」、「建設業」、「運輸業, 郵便業」

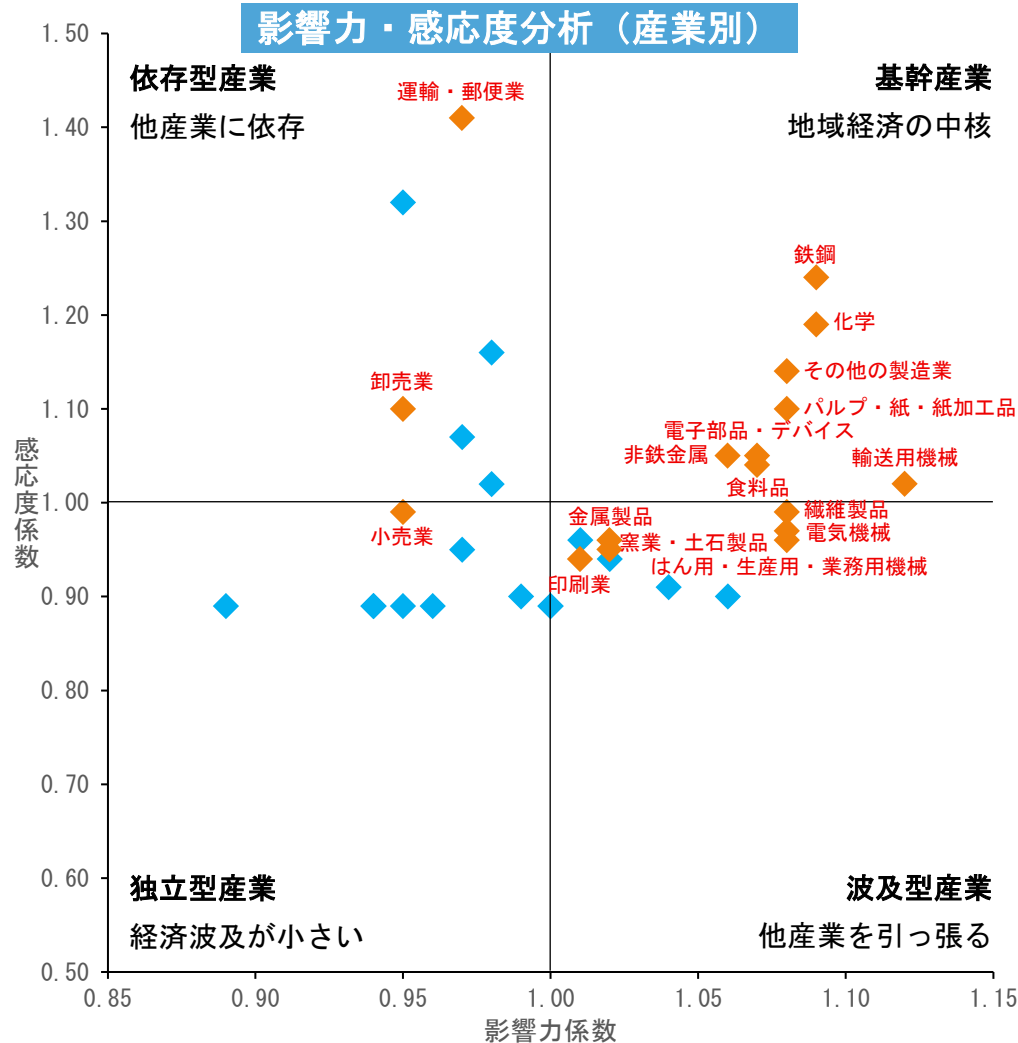
※一般的に、「公務」、「建設」、「不動産」、「医療・福祉」等は販売先の多くが域外ではない限り、町民・町内業者を主な販売先としており、主要産業とはしない。



（備考）経済センサス-活動調査より作成 データ基準年 売上（収入）金額・純付加価値額・事業従事者1人当たり純付加価値額：2021年

4-2. 福崎町の「主要産業の特性」（影響力係数と感応度係数）②

- 「製造業」のうち「鉄鋼」、「化学」、「その他の製造業」、「パルプ・紙・紙加工品」、「電子部品・デバイス」、「非鉄金属」、「食料品」、「輸送用機械」は、基幹産業に分類 → 他の産業への波及効果も大きく依存度も高い
- 「製造業」のうち「繊維製品」、「電気機械」、「はん用・生産用・業務用機械」、「金属製品」、「窯業・土石製品」、「印刷業」は、波及型産業に分類 → 他の産業への波及効果が高い
- 「運輸・郵便業」、「卸売業」は、依存型産業に分類 → 他産業の動きに大きく依存
- 「小売業」は、独立型産業に分類 → 他の産業への波及効果も小さく依存度も低い



産業分類	影響力係数	感応度係数	産業分類	影響力係数	感応度係数
輸送用機械	1.12	1.02	印刷業	1.01	0.94
鉄鋼	1.09	1.24	保健衛生・社会事業	1.00	0.89
化学	1.09	1.19	情報通信業	1.00	0.89
その他の製造業	1.08	1.14	電気業	0.99	0.90
パルプ・紙・紙加工品	1.08	1.10	金融・保険業	0.98	1.16
繊維製品	1.08	0.99	その他の不動産業	0.98	1.02
電気機械	1.08	0.97	運輸・郵便業	0.97	1.41
はん用・生産用・業務用機械	1.08	0.96	その他サービス	0.97	1.07
電子部品・デバイス	1.07	1.05	廃棄物処理業	0.97	0.95
食料品	1.07	1.04	公務	0.96	0.89
非鉄金属	1.06	1.05	専門・科学技術、業務支援サービス業	0.95	1.32
宿泊・飲食サービス業	1.06	0.90	卸売業	0.95	1.10
農業	1.04	0.91	小売業	0.95	0.99
金属製品	1.02	0.96	住宅賃貸業	0.95	0.89
窯業・土石製品	1.02	0.95	林業	0.94	0.89
建設業	1.02	0.94	教育	0.94	0.89
水道業	1.01	0.96	ガス・熱供給業	0.89	0.89

※1 影響力係数：当該産業に対する新たな需要が、全産業（調達先）に与える影響の強さ

※2 感応度係数：全産業に対する新たな需要による当該産業が受ける影響の強さ

（備考）地域経済分析システム（RESAS）-影響力感応度分析より作成 データ基準年 2022年

5. エリア別の分析

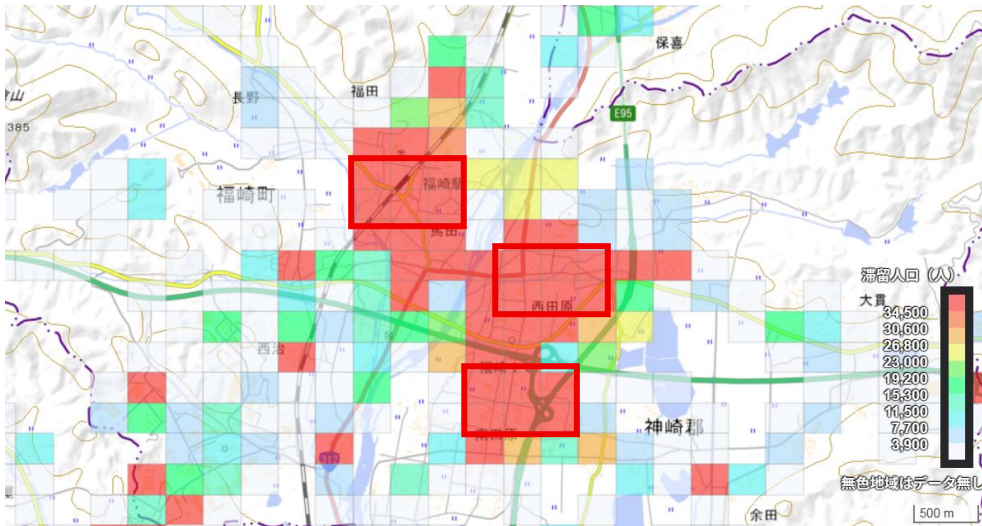
※産業構造等について、「RESAS」で分析可能な地区範囲は、市町村単位までである。

「J STAT MAP（地図による小地域分析）」では、年齢別人口や世帯数、業種別事業所数、従業者数については、市町村単位よりも詳細な地区で分析できる。

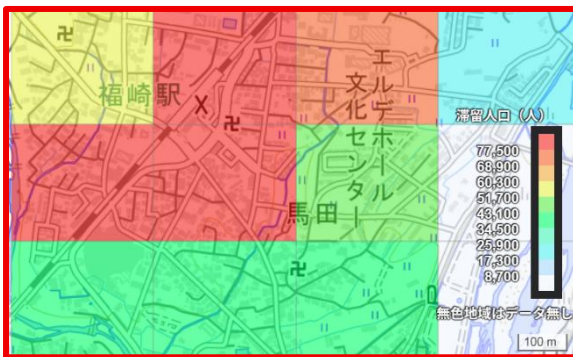
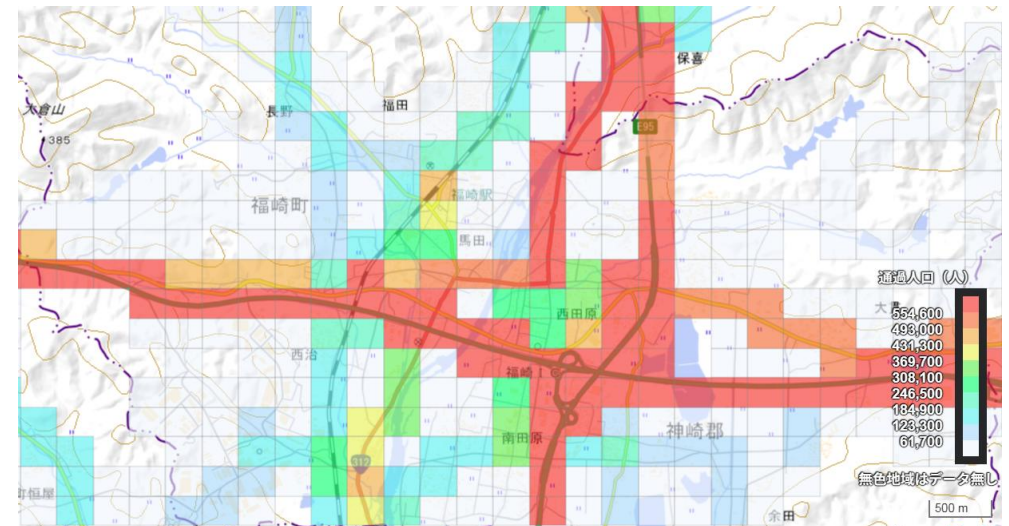
5-1. 福崎町の人の流れ - 滞留人口、通過人口 -

- 滞留人口は、福崎駅周辺、福崎 IC 周辺、辻川区周辺が多い。
- 通過人口は、中国自動車道、播但連絡道路、国道 312 号線（町北部）、県道 23 号線（三木穴粟線）が多く、JR 播但線、国道 312 号線（町南部）は少ない。

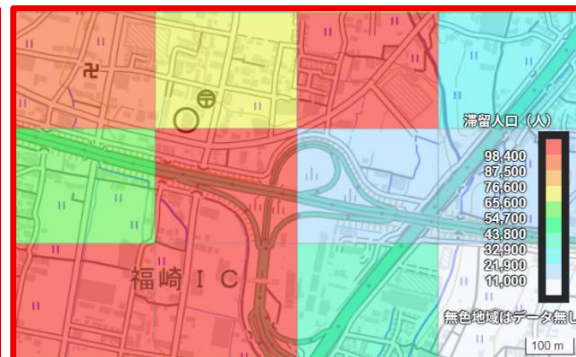
滞留人口（2024 年）



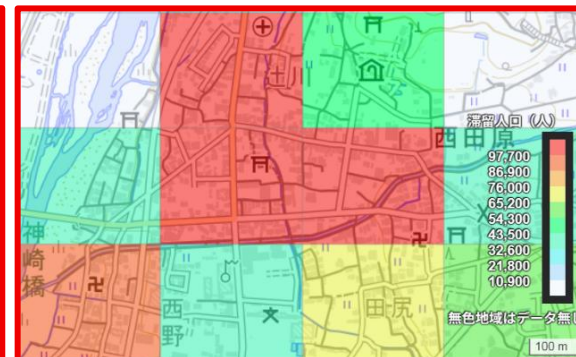
通過人口（2024 年）



滞留人口-福崎駅周辺



滞留人口-福崎 IC 周辺



滞留人口-辻川区周辺

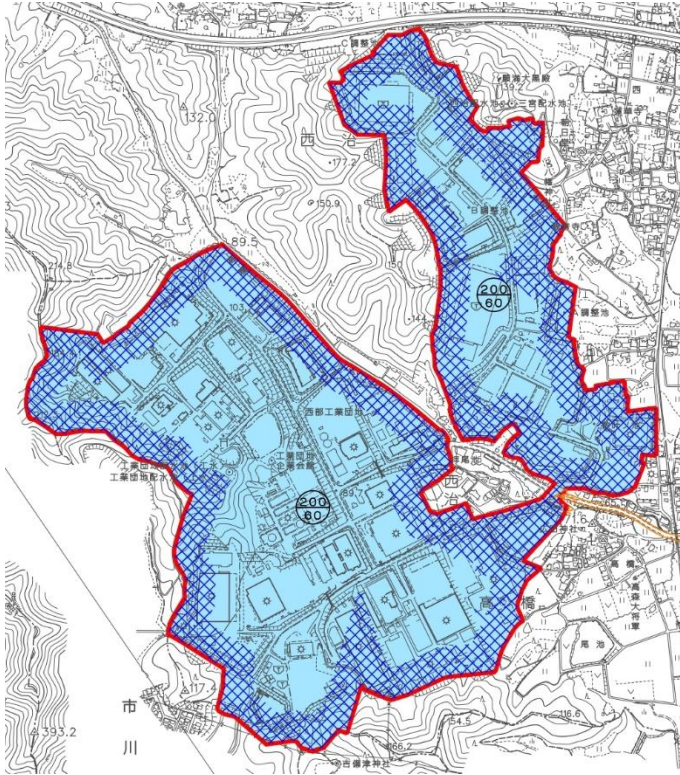
○滞留人口：メッシュ内に 15 分以上滞留した場合にカウント（滞留時間を 1 時間あたりで按分し人数を計算） 通過人口：あるメッシュを通過した人を「1 人」とカウント

○メッシュサイズ：250 メートル ※画面に表示されている範囲で値を計算し、メッシュの色を決めているため、縮尺を変更すると同じメッシュでも色が変わる

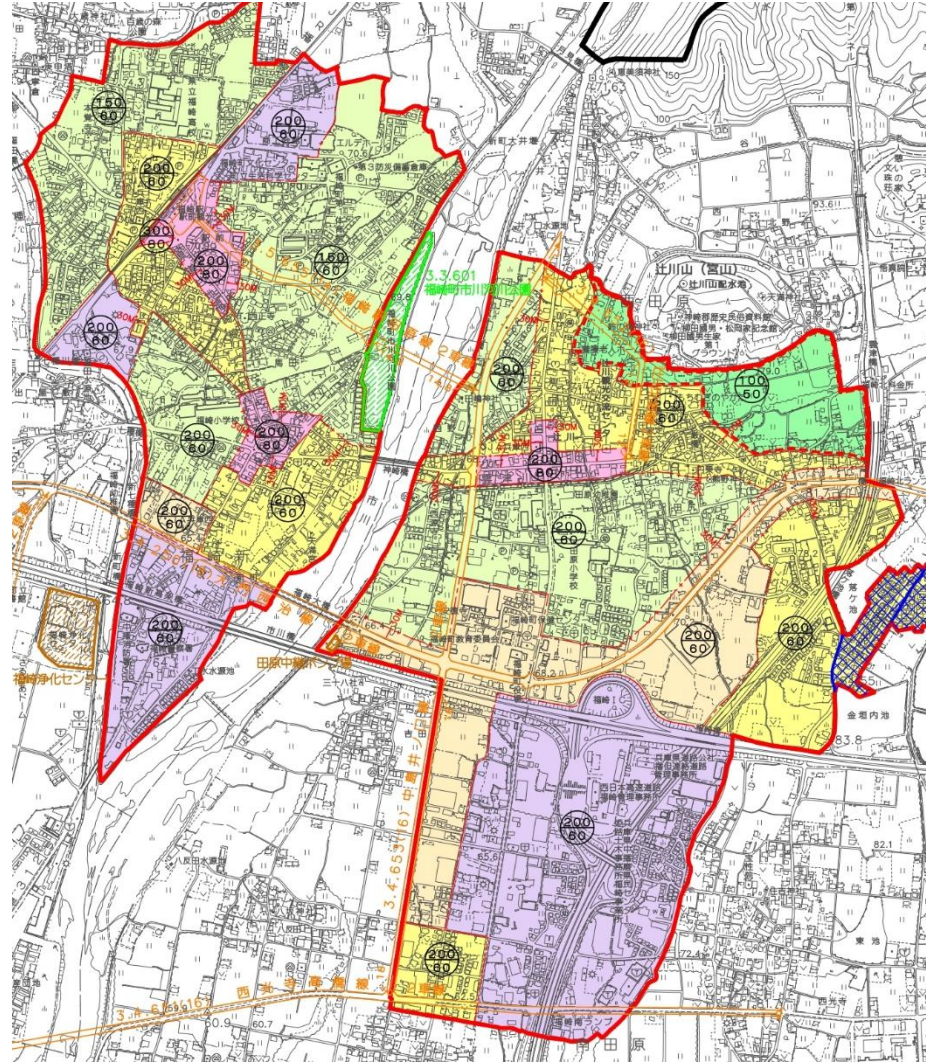
（備考）地域経済分析システム（RESAS）-滞留人口メッシュ分析・通過人口メッシュ分析より作成 データ基準年 滞留人口・通過人口：2024 年（すべての月、すべての日、すべての時間帯）

【参考】福崎町の都市計画図（市街化区域）

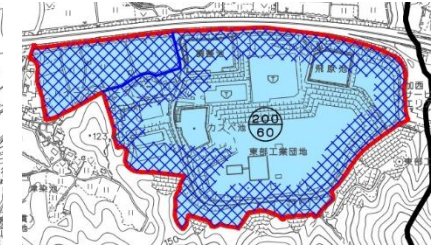
福崎工業団地・福崎企業団地



市街地（福崎駅・福崎町役場周辺）



福崎町東部工業団地



凡例	
	都市計画区域界
	市街化区域界
	用途地域界 地形地物による場合 その他の場合
	1.OMの壁面後退制限
	建ぺい率・容積率 (下段) (上段)
	第一種低層住居専用地域 (建築物の高さの限度1.0M)
	第二種中高層住居専用地域
	第一種住居地域
	第二種住居地域
	近隣商業路地域
	準工業地域
	工業専用地域
	都市計画道路
	都市計画公園
	地区計画区域
	公共下水道処理場・ポンプ場

【参考】J STAT MAP を活用したマーケット分析－福崎工業団地・福崎企業団地－

データ名	人口		
	1次エリア	福崎町	兵庫県
人口総数	455	19,377	5,465,002
男人口	228	9,461	2,599,756
女人口	227	9,916	2,865,246

75歳以上	60	2,747	801,170
70-74	44	1,454	401,579
65-69	37	1,253	343,794
60-64	31	1,123	311,560
55-59	26	1,087	338,016
50-54	26	1,085	374,245
45-49	31	1,397	421,487
40-44	34	1,192	344,704
35-39	30	1,046	297,280
30-34	15	851	259,573
25-29	14	823	234,214
20-24	14	937	245,645
15-19	21	975	249,139
10-14	26	900	238,696
5-9	19	822	225,034
0-4	14	720	196,475

年少人口(0歳~14歳)	59	2,442	660,205
生産年齢人口(15歳~64歳)	241	10,516	3,075,863
老年人口(65歳以上)	141	5,454	1,546,543
15歳以上就業者数	215	9,278	2,377,454
後期高齢者数(75歳以上)	60	2,747	801,170

データ名	世帯数		
	1次エリア	福崎町	兵庫県
一般世帯総数	171	7,784	2,399,358
単身世帯	48	2,763	862,511
2人以上世帯	123	5,021	1,536,847
核家族世帯	95	4,046	1,371,842
夫婦のみの世帯	36	1,415	510,055
夫婦と子供から成る世帯	47	2,056	639,014
6歳未満世帯員のいる世帯	11	630	182,564
65歳以上世帯員のいる世帯	94	3,371	1,004,146
持ち家世帯	143	5,209	1,527,472
民営借家世帯	20	1,893	589,556



データ名	1次エリア	福崎町	兵庫県
全産業事業所数 (S公務を除く)	36	929	203,113
第1次産業	0	11	1,024
第2次産業	17	205	33,240
第3次産業	19	713	168,849

全産業従業者数 (S公務を除く)	1,223	11,614	2,221,469
第1次産業	2	158	11,283
第2次産業	940	5,035	511,900
第3次産業	282	6,421	1,698,286

データ名	1次エリア	福崎町	兵庫県
第2次産業内訳 (事業所数)			
C 鉱業・採石業・砂利採取業	0	0	33
D 建設業	2	77	16,634
E 製造業	15	128	16,573

第2次産業内訳 (従業者数)			
C 鉱業・採石業・砂利採取業	0	0	275
D 建設業	6	348	110,274
E 製造業	934	4,687	401,351

データ名	1次エリア	福崎町	兵庫県
第3次産業内訳 (事業所数)			
F 電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	276
G 情報通信業	0	4	1,800
H 運輸業・郵便業	3	33	5,316
I 卸売業・小売業	5	228	47,973
J 金融業・保険業	0	14	2,992
K 不動産業・物品賃貸業	1	48	14,692
L 学術研究・専門・技術サービス業	1	24	9,183
M 宿泊業・飲食サービス業	2	81	25,617
N 生活関連サービス業・娯楽業	1	78	16,729
O 教育・学習支援業	0	39	7,888
P 医療・福祉	2	67	20,248
Q 複合サービス事業	0	6	1,270
R サービス業(他に分類されないもの)	4	91	14,865

第3次産業内訳 (従業者数)			
F 電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	5,219
G 情報通信業	0	6	26,824
H 運輸業・郵便業	111	949	129,185
I 卸売業・小売業	68	2,151	436,975
J 金融業・保険業	1	190	41,775
K 不動産業・物品賃貸業	4	152	60,592
L 学術研究・専門・技術サービス業	14	145	68,990
M 宿泊業・飲食サービス業	7	597	194,110
N 生活関連サービス業・娯楽業	21	326	85,553
O 教育・学習支援業	0	284	93,819
P 医療・福祉	25	914	352,550
Q 複合サービス事業	0	57	16,297
R サービス業(他に分類されないもの)	31	650	186,397

データ名	1次エリア	福崎町	兵庫県
従業者規模別 (事業所数)			
1~4人	14	512	115,076
5~9人	6	171	39,634
10~19人	6	117	25,085
20~29人	2	54	9,174
30人以上	7	72	12,978
出向・派遣従業者のみ	0	3	1,166

データ名	1次エリア	福崎町	兵庫県
従業者規模別 (従業者数)			
1~4人	31	1,021	241,146
5~9人	41	1,106	260,801
10~19人	82	1,592	337,784
20~29人	49	1,269	218,260
30人以上	1,020	6,626	1,163,478

(備考) jSTAT MAP より作成 データ基準年 国勢調査：2020年 経済センサス：2021年

【参考】J STAT MAP を活用したマーケット分析－市街地（福崎駅周辺）－

データ名	人口		
	1次エリア	福崎町	兵庫県
人口総数	3,071	19,377	5,465,002
男人口	1,511	9,461	2,599,756
女人口	1,560	9,916	2,865,246

75歳以上	383	2,747	801,170
70-74	199	1,454	401,579
65-69	164	1,253	343,794
60-64	142	1,123	311,560
55-59	160	1,087	338,016
50-54	157	1,085	374,245
45-49	224	1,397	421,487
40-44	168	1,192	344,704
35-39	173	1,046	297,280
30-34	130	851	259,573
25-29	202	823	234,214
20-24	209	937	245,645
15-19	123	975	249,139
10-14	121	900	238,696
5-9	128	822	225,034
0-4	127	720	196,475

年少人口(0歳~14歳)	376	2,442	660,205
生産年齢人口(15歳~64歳)	1,688	10,516	3,075,863
老年人口(65歳以上)	746	5,454	1,546,543
15歳以上就業者数	1,542	9,278	2,377,454
後期高齢者数(75歳以上)	383	2,747	801,170

データ名	世帯数		
	1次エリア	福崎町	兵庫県
一般世帯総数	1,560	7,784	2,399,358
単身世帯	820	2,763	862,511
2人以上世帯	740	5,021	1,536,847
核家族世帯	625	4,046	1,371,842
夫婦のみの世帯	212	1,415	510,055
夫婦と子供から成る世帯	302	2,056	639,014
6歳未満世帯員のいる世帯	118	630	182,564
65歳以上世帯員のいる世帯	531	3,371	1,004,146
持ち家世帯	682	5,209	1,527,472
民営借家世帯	627	1,893	589,556



データ名	1次エリア	福崎町	兵庫県	
全産業事業所数 (S公務を除く)		101	929	203,113
第1次産業		1	11	1,024
第2次産業		14	205	33,240
第3次産業		86	713	168,849

全産業従業者数 (S公務を除く)	668	11,614	2,221,469
第1次産業	5	158	11,283
第2次産業	173	5,035	511,900
第3次産業	491	6,421	1,698,286

データ名	1次エリア	福崎町	兵庫県
第2次産業内訳 (事業所数)			
C 鉱業・採石業・砂利採取業	0	0	33
D 建設業	9	77	16,634
E 製造業	5	128	16,573

第2次産業内訳 (従業者数)			
C 鉱業・採石業・砂利採取業	0	0	275
D 建設業	47	348	110,274
E 製造業	126	4,687	401,351

データ名	1次エリア	福崎町	兵庫県
第3次産業内訳 (事業所数)			
F 電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	276
G 情報通信業	0	4	1,800
H 運輸業・郵便業	2	33	5,316
I 卸売業・小売業	30	228	47,973
J 金融業・保険業	3	14	2,992
K 不動産業・物品賃貸業	8	48	14,692
L 学術研究・専門・技術サービス業	3	24	9,183
M 宿泊業・飲食サービス業	10	81	25,617
N 生活関連サービス業・娯楽業	9	78	16,729
O 教育・学習支援業	5	39	7,888
P 医療・福祉	6	67	20,248
Q 複合サービス事業	2	6	1,270
R サービス業(他に分類されないもの)	8	91	14,865

第3次産業内訳 (従業者数)			
F 電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	5,219
G 情報通信業	0	6	26,824
H 運輸業・郵便業	46	949	129,185
I 卸売業・小売業	149	2,151	436,975
J 金融業・保険業	59	190	41,775
K 不動産業・物品賃貸業	14	152	60,592
L 学術研究・専門・技術サービス業	27	145	68,990
M 宿泊業・飲食サービス業	32	597	194,110
N 生活関連サービス業・娯楽業	38	326	85,553
O 教育・学習支援業	16	284	93,819
P 医療・福祉	59	914	352,550
Q 複合サービス事業	12	57	16,297
R サービス業(他に分類されないもの)	39	650	186,397

データ名	1次エリア	福崎町	兵庫県
従業者規模別 (事業所数)			
1~4人	61	512	115,076
5~9人	21	171	39,634
10~19人	11	117	25,085
20~29人	6	54	9,174
30人以上	2	72	12,978
出向・派遣従業者のみ	0	3	1,166

データ名	1次エリア	福崎町	兵庫県
従業者規模別 (従業者数)			
1~4人	120	1,021	241,146
5~9人	123	1,106	260,801
10~19人	149	1,592	337,784
20~29人	136	1,269	218,260
30人以上	139	6,626	1,163,478

(備考) jSTAT MAP より作成 データ基準年 国勢調査：2020年 経済センサス：2021年

【参考】J STAT MAP を活用したマーケット分析ー市街地（福崎町役場周辺）ー

データ名	人口		
	1次エリア	福崎町	兵庫県
人口総数	3,195	19,377	5,465,002
男人口	1,534	9,461	2,599,756
女人口	1,661	9,916	2,865,246

75歳以上	347	2,747	801,170
70-74	190	1,454	401,579
65-69	173	1,253	343,794
60-64	176	1,123	311,560
55-59	151	1,087	338,016
50-54	171	1,085	374,245
45-49	231	1,397	421,487
40-44	249	1,192	344,704
35-39	217	1,046	297,280
30-34	203	851	259,573
25-29	144	823	234,214
20-24	115	937	245,645
15-19	141	975	249,139
10-14	178	900	238,696
5-9	204	822	225,034
0-4	184	720	196,475

年少人口(0歳~14歳)	566	2,442	660,205
生産年齢人口(15歳~64歳)	1,799	10,516	3,075,863
老年人口(65歳以上)	709	5,454	1,546,543
15歳以上就業者数	1,603	9,278	2,377,454
後期高齢者数(75歳以上)	347	2,747	801,170

データ名	世帯数		
	1次エリア	福崎町	兵庫県
一般世帯総数	1,205	7,784	2,399,358
単身世帯	321	2,763	862,511
2人以上世帯	884	5,021	1,536,847
核家族世帯	754	4,046	1,371,842
夫婦のみの世帯	236	1,415	510,055
夫婦と子供から成る世帯	404	2,056	639,014
6歳未満世帯員のいる世帯	162	630	182,564
65歳以上世帯員のいる世帯	451	3,371	1,004,146
持ち家世帯	784	5,209	1,527,472
民営借家世帯	306	1,893	589,556



(備考) jSTAT MAP より作成 データ基準年 国勢調査：2020年 経済センサス：2021年

データ名	1次エリア	福崎町	兵庫県
全産業事業所数 (S公務を除く)	147	929	203,113
第1次産業	1	11	1,024
第2次産業	13	205	33,240
第3次産業	133	713	168,849

全産業従業者数 (S公務を除く)	1,282	11,614	2,221,469
第1次産業	16	158	11,283
第2次産業	96	5,035	511,900
第3次産業	1,170	6,421	1,698,286

データ名	1次エリア	福崎町	兵庫県
第2次産業内訳 (事業所数)			
C 鉱業・採石業・砂利採取業	0	0	33
D 建設業	8	77	16,634
E 製造業	5	128	16,573

第2次産業内訳 (従業者数)			
C 鉱業・採石業・砂利採取業	0	0	275
D 建設業	37	348	110,274
E 製造業	59	4,687	401,351

データ名	1次エリア	福崎町	兵庫県
第3次産業内訳 (事業所数)			
F 電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	276
G 情報通信業	1	4	1,800
H 運輸業・郵便業	5	33	5,316
I 卸売業・小売業	44	228	47,973
J 金融業・保険業	3	14	2,992
K 不動産業・物品賃貸業	10	48	14,692
L 学術研究・専門・技術サービス業	4	24	9,183
M 宿泊業・飲食サービス業	17	81	25,617
N 生活関連サービス業・娯楽業	16	78	16,729
O 教育・学習支援業	8	39	7,888
P 医療・福祉	13	67	20,248
Q 複合サービス事業	1	6	1,270
R サービス業(他に分類されないもの)	11	91	14,865

第3次産業内訳 (従業者数)			
F 電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	5,219
G 情報通信業	2	6	26,824
H 運輸業・郵便業	105	949	129,185
I 卸売業・小売業	472	2,151	436,975
J 金融業・保険業	32	190	41,775
K 不動産業・物品賃貸業	30	152	60,592
L 学術研究・専門・技術サービス業	21	145	68,990
M 宿泊業・飲食サービス業	184	597	194,110
N 生活関連サービス業・娯楽業	41	326	85,553
O 教育・学習支援業	25	284	93,819
P 医療・福祉	117	914	352,550
Q 複合サービス事業	10	57	16,297
R サービス業(他に分類されないもの)	131	650	186,397

データ名	1次エリア	福崎町	兵庫県
従業者規模別 (事業所数)			
1~4人	83	512	115,076
5~9人	28	171	39,634
10~19人	18	117	25,085
20~29人	10	54	9,174
30人以上	7	72	12,978
出向・派遣従業者のみ	1	3	1,166

データ名	1次エリア	福崎町	兵庫県
従業者規模別 (従業者数)			
1~4人	160	1,021	241,146
5~9人	188	1,106	260,801
10~19人	247	1,592	337,784
20~29人	221	1,269	218,260
30人以上	467	6,626	1,163,478

【参考】J STAT MAP を活用したマーケット分析ー福崎町東部工業団地ー

データ名	人口		
	1次エリア	福崎町	兵庫県
人口総数	102	19,377	5,465,002
男人口	47	9,461	2,599,756
女人口	55	9,916	2,865,246

75歳以上	26	2,747	801,170
70-74	11	1,454	401,579
65-69	7	1,253	343,794
60-64	6	1,123	311,560
55-59	5	1,087	338,016
50-54	3	1,085	374,245
45-49	9	1,397	421,487
40-44	5	1,192	344,704
35-39	3	1,046	297,280
30-34	3	851	259,573
25-29	3	823	234,214
20-24	3	937	245,645
15-19	5	975	249,139
10-14	3	900	238,696
5-9	4	822	225,034
0-4	2	720	196,475

年少人口(0歳~14歳)	9	2,442	660,205
生産年齢人口(15歳~64歳)	47	10,516	3,075,863
老年人口(65歳以上)	44	5,454	1,546,543
15歳以上就業者数	45	9,278	2,377,454
後期高齢者数(75歳以上)	26	2,747	801,170

データ名	世帯数		
	1次エリア	福崎町	兵庫県
一般世帯総数	31	7,784	2,399,358
単身世帯	4	2,763	862,511
2人以上世帯	27	5,021	1,536,847
核家族世帯	19	4,046	1,371,842
夫婦のみの世帯	7	1,415	510,055
夫婦と子供から成る世帯	10	2,056	639,014
6歳未満世帯員のいる世帯	2	630	182,564
65歳以上世帯員のいる世帯	22	3,371	1,004,146
持ち家世帯	30	5,209	1,527,472
民営借家世帯	0	1,893	589,556



データ名	1次エリア	福崎町	兵庫県
全産業事業所数 (S公務を除く)		3	929
第1次産業		0	11
第2次産業		1	205
第3次産業		0	713

全産業従業者数 (S公務を除く)	37	11,614	2,221,469
第1次産業	0	158	11,283
第2次産業	14	5,035	511,900
第3次産業	23	6,421	1,698,286

データ名	1次エリア	福崎町	兵庫県
第2次産業内訳 (事業所数)			
C 鉱業・採石業・砂利採取業	0	0	33
D 建設業	0	77	16,634
E 製造業	1	128	16,573

第2次産業内訳 (従業者数)			
C 鉱業・採石業・砂利採取業	0	0	275
D 建設業	2	348	110,274
E 製造業	12	4,687	401,351

データ名	1次エリア	福崎町	兵庫県
第3次産業内訳 (事業所数)			
F 電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	276
G 情報通信業	0	4	1,800
H 運輸業・郵便業	0	33	5,316
I 卸売業・小売業	0	228	47,973
J 金融業・保険業	0	14	2,992
K 不動産業・物品賃貸業	0	48	14,692
L 学術研究・専門・技術サービス業	0	24	9,183
M 宿泊業・飲食サービス業	0	81	25,617
N 生活関連サービス業・娯楽業	0	78	16,729
O 教育・学習支援業	0	39	7,888
P 医療・福祉	0	67	20,248
Q 複合サービス事業	0	6	1,270
R サービス業(他に分類されないもの)	0	91	14,865

第3次産業内訳 (従業者数)			
F 電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	5,219
G 情報通信業	0	6	26,824
H 運輸業・郵便業	5	949	129,185
I 卸売業・小売業	1	2,151	436,975
J 金融業・保険業	0	190	41,775
K 不動産業・物品賃貸業	0	152	60,592
L 学術研究・専門・技術サービス業	0	145	68,990
M 宿泊業・飲食サービス業	1	597	194,110
N 生活関連サービス業・娯楽業	0	326	85,553
O 教育・学習支援業	0	284	93,819
P 医療・福祉	16	914	352,550
Q 複合サービス事業	0	57	16,297
R サービス業(他に分類されないもの)	0	650	186,397

データ名	1次エリア	福崎町	兵庫県
従業者規模別 (事業所数)			
1~4人	2	512	115,076
5~9人	1	171	39,634
10~19人	0	117	25,085
20~29人	0	54	9,174
30人以上	0	72	12,978
出向・派遣従業者のみ	0	3	1,166

データ名	1次エリア	福崎町	兵庫県
従業者規模別 (従業者数)			
1~4人	3	1,021	241,146
5~9人	4	1,106	260,801
10~19人	1	1,592	337,784
20~29人	6	1,269	218,260
30人以上	23	6,626	1,163,478

(備考) jSTAT MAP より作成 データ基準年 国勢調査：2020年 経済センサス：2021年

6. 分析結果から見た見解（まとめ）

1. 人口減少と生産年齢人口の縮小による地域経済への影響

福崎町の人口は、2020年から2040年にかけて約3,000人（約16%）減少する見込みである。特に地域経済の担い手である生産年齢人口（15～64歳）は約2,700人（約25%）減少すると推計されており、労働力不足や地域消費の縮小など、地域経済への影響が懸念される。一方で老年人口は増加が見込まれており、人口構造は「年少・生産人口の減少と老年人口の増加」が進む人口減少の初期段階にある。生産年齢人口は産業の担い手であると同時に地域消費の中心層でもあるため、今後の人口構造の変化は地域経済の持続性に大きな影響を及ぼす要因となる。

2. 製造業を中心とした福崎町の産業構造

福崎町の産業構造は、兵庫県や全国と比較して第二次産業の割合が極めて高く、製造業を中心とした産業構造が形成されている。特に化学、電気機械、鉄鋼などの製造分野は付加価値額および特化係数が高く、地域経済を支える基幹産業となっている。また運輸業・郵便業や卸売業・小売業も付加価値創出の面で重要な役割を担い、製造業を支える産業基盤を形成している。一方で、事業所単位の付加価値額に対する地場企業の割合は約55%にとどまり、播磨地域の中でも低い水準であることから、工業団地に立地する町外資本企業の影響が大きい地域構造となっている。

3. 通勤流入と消費流入による地域経済の資金循環

資金循環構造を見ると、福崎町は昼間人口が夜間人口を上回る地域であり、町外からの通勤・通学者が多い「就業流入型」の地域である。地域内の雇用者所得は町民所得より多く、町外居住者への所得流出が生じているものの、民間消費については町外からの利用者による消費流入が確認されている。近隣自治体の住民や工業団地に勤務する町外従業員による商業施設利用などが、地域内消費の流入要因となっていると考えられる。これにより、地域内には一定の雇用基盤と消費基盤が形成されている。

4. 製造業を核とした産業連関構造と地域経済の波及効果

産業連関分析によると、福崎町では鉄鋼、化学、電子部品などの製造業が基幹産業として位置づけられ、地域経済の中心的役割を担っている。これらの産業は他産業への波及効果も大きく、地域経済全体への影響力が高い。また機械、金属製品などの製造分野は波及型産業として地域産業の連関を通じて経済活動を支えている。一方、運輸業や卸売業は依存型産業として他産業の動向に影響を受けやすい構造となっている。このように製造業を中心とした産業ネットワークが、福崎町の「稼ぐ力」を形成している。

5. 交通結節点に集中する人流と地域活性化の可能性

エリア分析では、滞留人口が福崎駅周辺、福崎IC周辺、辻川地区などに集中しており、交通結節点や観光資源周辺に人流が集積していることが確認された。また、中国自動車道や播但連絡道路、国道312号線などの主要交通軸では通過人口が多く、交通利便性の高さが地域の特徴となっている。このような人流構造は、物流拠点機能や商業機能の強化、観光誘客の促進など、地域経済活性化の可能性を示す要素である。

6. 総括：製造業集積を強みとした持続的地域経済の構築

以上の分析から、福崎町は製造業を中心とした産業集積と交通アクセスの優位性を背景に、域外からの通勤者や消費流入によって一定の経済活力を維持している地域であることが確認された。一方で、生産年齢人口の減少、地場企業の付加価値割合の低さ、所得の域外流出といった課題も存在している。今後は、地域内企業の付加価値創出力の強化、製造業とサービス業の連携による地域経済循環の拡大、交通結節点を活かした商業・観光機能の強化などにより、持続可能な地域経済の発展を図ることが重要である。